社会臨床心理学

科目ナンバリング　CLI-301
選択　　2単位

大塚　秀実

1. 授業の概要（ねらい）

人間の感情や行動は普遍的なものである一方、個人を取り巻く環境から影響を受ける。人間はひとりで生きていくことは不可能であり、他者の助けを受け互いに影響を与えながら生きていく。臨床心理学は人間の内的なこころの動きについて研究を重ねてきた。一方、環境や社会的な出来事が個人の内的な動きに与える影響についても関心を抱き続けてきた。

2011年に　起きた東日本大震災は、災害時の健康支援にはどんな支援ができるだろうか、という疑問を投げかけた。また、日本で餓死者がでたという出来事は、貧困問題が日本に存在するということを否応なく意識させ、私たちに驚きを与えるのに十分であった。そして、それらの出来事がその後どのように推移したのか、どのような結果となったのか、その出来事は個人の心理にどのような影響を与えたのか、集団にどのような影響を与えたのか、を知ることは、この世界で生きていく上でとても重要なことである。人口が減少に向かっている今でも自殺者数が2万人程度を推移している現状もまた、私たちになぜ死を選ばなければならない状況があるのかを考えることを要求する事態である。

また、コロナ禍において、人は何におびえ生活しているのでしょうか。ウィルスでしょうか、人の視線でしょうか。

こうした問題は、専門家だけが取り組めば解決に向かうものではない。誰もが身近な問題であると捉えることによってはじめて、現実味を帯びてくるものである。

この授業では、社会的な問題と臨床心理学が関連する分野を知り、新たな視点を得ることを目指すことを目的とする。

2020年度秋学期は、オンラインにて実施する。LMSにパワーポイントの資料と音声をアップする。毎回、感想を求める。

2. 授業の到達目標

・社会で起きる出来事に関心を抱き、精神疾患や精神疾患が生じる背景を理解すること。
・現状や知識をもとに自分の意見を述べることができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業はオンラインにて実施する。LMSにパワーポイントの資料と音声をアップするので、音声を聞きながら資料に目を通すこと。また、毎回、その感想を求めることとする。気になったことは調べること。

成績は、毎回の感想を50%（毎回の感想は、初回・最終日を除く13回）、最終レポートを50%とする。

4. 教科書・参考文献

参考文献
ポールモーランド　人口で語る世界史　文芸春秋社
ジャレドダイアモンド　危機と人類（上下）　日本経済新聞出版社
ヴィクトールフランクル　夜と霧　みすず書房

5. 準備学修の内容

授業で紹介した書籍・論文を読んでおくこと

6. その他履修上の注意事項

・「精神疾患とその治療」を受講済みであることが望ましい
・社会で起こる出来事について興味関心を抱き、積極的に調べること
・授業内で調査を依頼することがある
・ゲストスピーカーを招くことがある
・真剣に学ぼうとしている学生の邪魔（私語・飲食）をしないこと

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：社会の問題とメンタルヘルスの問題について学ぶ
【第2回】　震災と心理について学ぶ
【第3回】　震災支援について学ぶ
【第4回】　戦争とPTSDの歴史について学ぶ
【第5回】　日本における貧困問題について学ぶ
【第6回】　ひきこもりの心理と支援について学ぶ
【第7回】　自殺問題について学ぶ①
【第8回】　自殺問題について学ぶ②
【第9回】　精神障害者支援について学ぶ
【第10回】　合理的配慮とその現状について学ぶ
【第11回】　インターネット依存とその現状について学ぶ①
【第12回】　インターネット依存とその現状について学ぶ②
【第13回】　大学生の心理と学生相談について学ぶ
【第14回】　コロナ禍の私たちの日常生活とメンタルヘルスについて学ぶ
【第15回】　レポート講評